

加来徹バリトンリサイタル

～歌で世界を駆ける～

ピアノ:松岡あさひ

2022年6月14日(火)

14:00 開演(開場 13:30)

古賀政男音楽博物館 けやきホール

一般/3,500円 学生/2,000円

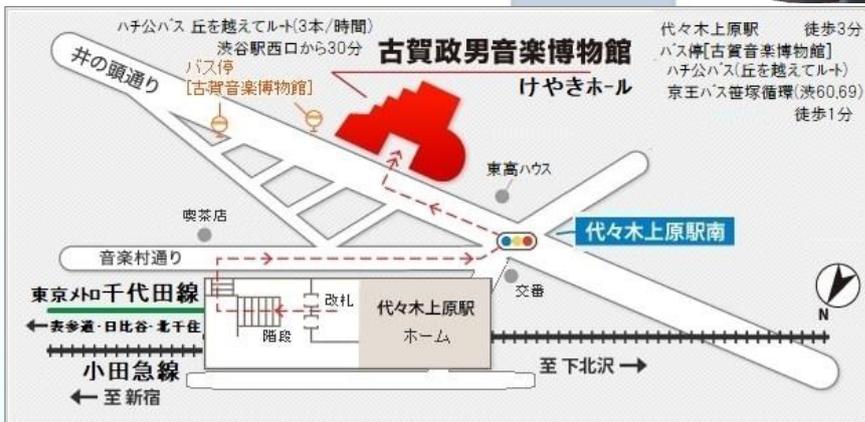
- * 感染対策等のため、中止、変更の可能性があります。非常時のご連絡のために、ご購入時に代表者のご連絡先を必ずお伝えください。(個人情報のご連絡以外には使用せず、破棄いたします)
- * ご来場時に検温・手指の消毒、退場時までのマスク着用の御協力をお願いいたします。

演奏予定曲

小さな空 武満 徹
献呈 シューマン
ミュージカル「ラ・マンチャの男」見果てぬ夢 M. リー

* 曲目は今後変更の可能性があります。

曲のリクエストも出演者にお伝えします。
4月末までにお申し出ください。



チケットは電話・メールで受け付けます。
下記まで①氏名、②住所、③電話番号、④枚数をご連絡ください。

一般社団法人 大学女性協会(JAUW)
問合せ・申込

TEL 03-3358-2882
(月～金 11:00～15:00)
FAX 03-3358-2889
Mail jauw@jauw.org



加来 徹バリトンリサイタル～歌で世界を駆ける～

出演者プロフィール

バリトン 加来 徹（かく とおる） Kaku Toru

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同声会賞受賞。同大学院音楽研究科修士課程を首席で修了。大学院アカンサス賞受賞、武藤舞奨学金を受ける。

第55期二期会オペラ研修所を総代で修了。最優秀賞および川崎静子賞受賞。

バッハ・コレギウム・ジャパン声楽メンバーとして「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「メサイア」をはじめ多くの公演でソリストとして出演。2021年の「エリアス」ではタイトルロールを務めた。

歌曲の演奏に定評があり、ドイツ歌曲やイギリス歌曲、ロシア歌曲など、時代を問わず幅広いレパートリーを持ち各地のホールでリサイタルを行なっている。

オペラでの活躍もめざましく、日生劇場オペラ『ドン・ジョヴァンニ』にタイトルロールで出演し、大きな反響を呼んだほか、日生劇場オペラ『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、日生劇場オペラ『ルチア』エンリーコ、二期会『光太夫』タイトルロールなど多くの作品に出演。

2019年は日生劇場主催『アラジンと魔法のヴァイオリン』アラジン王子役として全国でツアーを行なう。2018-19 日本フィル&サントリーホール《とっておきアフタヌーン》では、シーズンを通しナビゲーターを務めるなど、MCにも定評がある。

第20回友愛ドイツリートコンクール第2位。日本歌曲賞、日本Rシュトラウス協会賞受賞。

2014年チャンネル・ピグマリオン・デイズアーティスト。

2021年9月には待望の3rdアルバム【moment-歌道-】をリリース。

現在、女声合唱団「サーナ・テクセレ」音楽監督。洗足学園音楽大学非常勤講師。二期会会員。

ピアノ 松岡あさひ Asahi Matsuoka

ドイツ・デュッセルドルフにて邦人作曲家の両親のもとに生まれ、幼少よりピアノ、作曲を学ぶ。東京藝術大学音楽学部作曲科首席卒業。同時にアカンサス音楽賞、同声会賞受賞。同大学院音楽研究科修士課程作曲専攻修了。

2011年奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位。2012年より文化庁新進芸術家海外研修員としてドイツ・シュトゥットガルト音楽演劇大学に留学し、作曲のほかオルガン演奏法を学ぶ。

作曲家としてはピアノ、オルガン、チェンバロを含む鍵盤楽器のための作品、歌曲、オペラ、合唱曲を含む声楽のための作品を中心に多数の委嘱を受け活動しており、日本国外でもドイツを主とするヨーロッパ各地で作品が演奏されている。また、共演者としてもバリトンの加来徹との協働など、多くの演奏家の信頼を得ている。

現在、東京藝術大学演奏芸術センター特任准教授。日本ドイツリート協会会員。